

光学医療診療部の外来検査あるいは入院検査治療を受けられた患者さんへ

「光学医療診療部診療記録を利用したデータベースの包括的後ろ向き解析」研究への協力のお願い

光学医療診療部では、内視鏡を用いて様々な疾患の診断と治療を行っております。内視鏡検査・治療に関わる疾患は、消化器疾患をはじめ、呼吸器疾患、耳鼻咽喉科疾患、婦人科疾患など多岐にわたっております。内視鏡分野の進歩は目覚ましく、世界的に標準化された診断基準が存在している疾患もありますが、診断基準が不明確な疾患も依然として存在しており、それらの疾患に対する治療方針、予後予測は未だに不十分です。光学医療診療部が扱っている疾患の内視鏡診断や併存疾患との関連、リスク因子の同定・評価、あるいは内視鏡治療の安全性や有効性、短期・長期予後などを評価し、学術的構築を行うことを目的としています。

このような問題を解決するためには、前向き研究（研究目的を決定した後、患者さんをいくつかの群に振り分けさせていただき、その経過を追わせていただく研究）が重要ですが、その基盤として後ろ向き研究（今までの臨床データを解析して、治療成績や患者さんの自然経過を見させていただく研究）が非常に重要です。

それゆえ、当部では、東大病院光学医療診療部にて内視鏡検査・治療を受けられた患者さんの以前のデータを解析いたします。対象となるデータは、診療録（問診や診察所見など）、投薬内容、疾患名、内視鏡所見、病理所見、検査結果（血液検査、尿検査、便検査など）、生理検査（心電図、呼吸機能検査など）、放射線検査（一般X線検査やCT検査、MRI検査、核医学検査など）、各種臨床評価指標、など、日常診療において行われているデータです。

この研究は、過去の診療記録を用いて行われますので、該当する方の現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析にあたっては、個人情報情報は匿名化させていただき、その保護には十分配慮いたします。当然ながら、学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡頂きたいと思います。なお、本研究は、当院の倫理委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益をこうむることはありませんので、ご安心下さい。

2025年5月

連絡先：東京大学医学部附属病院光学医療診療部

角嶋 直美、久田 浩之、新美 恵子、嶋本 有策、福田 麟太郎

住所：〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

TEL: 03-3815-5411 (内線 35049)

FAX: 03-5800-9015